



おきなわ

私保連だより

No.

125

2014年
(平成26年)
12月24日

発行所

一般社団法人
沖縄県私立保育園連盟
〒903-0804
那覇市首里石嶺町4-373-1
TEL. 098(887) 1270
発行人 玉城善徳
編集 広報部



(奥武島の烏賊干し)

もくじ

新制度スタートを前に…………… 2 P
平成26年度園長研修会 …………… 3 P
第26回沖縄私立保育園連盟 保育研究大会… 4～5 P
保育カウンセラーミニ講座 in 石垣市………… 5 P
平成26年度 初任園長研修会…………… 6 P

職員交流・ボウリング大会…………… 6 P
沖縄私保連HPリニューアル…………… 7 P
訂正とお詫び…………… 7 P
編集後記…………… 7 P
広告…………… 8 P

「新制度スタートを前に」



光沢寺第二保育園（北九州市）

園長 藤岡 佐規子

本原稿依頼受領の三日後、新知事誕生が報じられた。幾度か訪れた沖縄で、ひめゆりの塔の前に立つと溢れる涙を押さえることが出来ない同世代の私には「何故、沖縄ばかりが…」という思いを抱かれるあなた方の憤りがこの結果に反映されたのだと思っている。

さて、戦後60余年にわたる私の保育人生には大きく二つのテーマがある。一つは乳幼児期の保育の重要性について社会の理解を求めること。これは若い日学んだ玉川大学の故小原国芳学長のことば「初等普通教育を樹に例えると幹、高等教育は枝葉、就学前は根っこの教育、根っこが朽ちれば葉も繁らず花も咲かず結実もないよ」が心に刻み込まれているからである。今一つは保育者の社会的地位の向上である。倉橋惣三氏の『育ての心』に「子どもの友となるのに一番必要なものはいきいきしさである。必要というよりも、いきいきしさをなくして子どもの傍にあるのは罪悪である。子どもの最も求めている生命を与えず、子どもの生命そのものを鈍らせずにはおかぬからである」とある。

保育者たちのいきいきしさの源は、この職にあることの誇りと喜びであるが、あまりにも劣悪な条件下では、いきいきしさを保つのは困難である。

さて、来年度から施行される新制度にどうしても納得がいかないのは、この二つのテーマに相反する思いを抱くからである。69年前敗戦の焦土に佇み茫然自失の大人たちが、子どもに夢をかけて制定され

た最低基準が豊かになった筈の現在、待機児童ゼロ作戦と称して調理室不要、公園の園庭代替使用可、定員オーバー可、臨時職員二割以内の基準廃止など根っこの育つ重要な時期に、子どもへの心遣いより大人の利便性優先、冒頭に子どもの最善の利益、保護者の第一義責任を謳いながら、働きモード全開、子どもと向き合う時間を奪い、親の働き方によって認定がなされるというのは「保育の質」がそのことによって左右されるだろうことは歴然としている。しかも戦後60余年をかけて構築してきた「保育」を殊更に学校教育法による学校教育と児童福祉法による養護と教育に分断、即ち保育の分断を図っている点も理解に苦しむのである。

今年、ノーベル平和賞受賞に輝くマララさんは銃弾を受けても子どもの教育を受ける権利を主張して怯まなかった。子どもの代弁者を自負する私たちは教育を受ける前の、子どもの愛される権利を、そのことによって人間を信じ、心の安定が保たれた時、自らの育つ力が最大限に発揮されることを体を張って社会に・政治家に訴えたいだろうか。

保育組織が一体となったときは力になるだろう。しかし政権政党にすり寄るものがリーダーシップをとり、それに盲従する組織ならば子どもの権利は視野の外に置かれるだろう。

私たちがなすべきは「子どもの現在（いま）が世界の将来（あす）」この事を肝に銘じ実践に励みつつ外に向かって強力に発信していくことだと思う。

【プロフィール】藤岡 佐規子 光沢寺第二保育園 園長

北九州市保育所連盟顧問、北九州市保育士会名誉会長を務める。これまで福岡県保育協議会会長、財団法人アジア女性交流研究フォーラム理事、全国社会福祉協議会全国保育士会会長、福岡県立大学・西南女学院短期大学非常勤講師等を歴任。2007（平成19）年、第6回福岡県男女共同参画表彰（県民賞）受賞。著書に『保育園の窓辺から…』『保育園で働くあなた』などがある。

平成26年度 園長研修会

保育と教育を切り離してはならない

～子どもの視点から子ども子育て支援制度を考える～



平成26年11月19日（水）2時から、沖縄都ホテルにて、福島大学教授の大宮勇雄氏を講師に招いて、「平成26年度 園長研修会」が開催された。

新制度は子どもの最善の利益を保障するための制度となり得ているのか。今回の園長研修は、新制度の理解と同時に、今後どのような運動体として組織があるべきかの方向付けについて、大宮先生から示唆を頂くためのものであった。

今回の新制度を理解するうえで、政府の幼児教育政策の動向をおさえておくことが重要である。関係法等を比べてみると学校教育法でも保育所保育指針でも“保育”という文言が使われている。それは“乳幼児期には幼稚園でも保育所でも同じように養護（ケア）が必要で、養護と教育は一体である”という見解であった。いわゆる学校のような形で教育するものではなく、乳幼児期にふさわしい教育の形であるという考え方であった。それに対し、新制度の根本になっている“子ども・子育て支援法”では、まず満3歳以上と記され「教育」について“学校において行われる教育をいう”となっており、「保育」については明記せず、児童福祉法6条の3第7項を引用しているが、その条文は「一時預かり事業」を示している。新制度は議論の当初から「幼児期の教育と小学校の教育の円滑な接続」が掲げられ幼児期を学校教育の準備段階として組込み、入学後すぐ授業に適應できるような子を幼児期の終わりまでに育てることを求めている。つまり成果主義の学校教育の効率的な運営につなげようとする政府の主張が「教育」と「保育」を機械的に切り離している。そもそも“学ぶ力”というのは勉強する場での頑張りのような狭い捉え方だけではいけない。日々の遊びや生活すべての場面で、難しいことに挑戦したりするなかで学ぶ意欲は育ち始め、そういう難しいことに子ども自身が葛藤しながら過ごす日々、ものすごく意味がある。その時間を掛けた日々の体験の中に“真の学び”はある。子どもたちの懸命な健気な姿や、その姿に大人が微笑む姿にこそ、学ぶ力が育ってい

くのだ。

この“育ち”を守るのに、大事なことは児童福祉法24条1項に“市町村は保育をしなければならない”とあり、それは子どもの側からみれば保育を受ける権利があるということである

人間性豊かに生きる権利に応えるのが保育の精神であり、そのようなことを抜きにして“預かり”にされていることこそが一番の問題である。

児童福祉法24条1項は残ったが、厚労省や政府の考えはどうかそれを骨抜きにしようとしている。例えば、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では保育所保育指針の大事なところはほとんど削除された。

（「子どもの発達」「福祉の積極的増進」「養護と教育の一体性」「保育の専門性」など）

保育所保育指針の精神、つまり子どもの権利（人間らしく生きる権利）を社会的に保障するのが保育であり、それと同時に家庭の幸せと子どもの成長は切り離せないものである。「保育は預かりさえやってくればいいですよ。」そういうように読める保育に対する粗雑な扱いは非常に問題である。しかし保育所が作り上げてきた、これまでの実践や精神が地域に根付き社会に根付いて信頼を得ていくことは崩すことはできない。

やはり、乳幼児期にふさわしい生活や遊びが大事であり、黙っているだけでは変わらない。どのように問題を整理して提起していったらよいかこれから考えるなかで、すべての子どもたちに大事な乳幼児期の中身をみんなで確かめ、子どもの視点で構築するという精神を社会に広げていかなければならない。

平成26年度 沖縄県私立保育園連盟保育研究大会

テーマ『子どもの育ちと保育園の役割』

平成26年9月7日（日）沖縄都ホテルにて行われた
保育研究大会に保育士、職員603名が参加し、新制度



や日頃行っている私達の“保育”について学びを深めました。

会長の挨拶の中で、国の経済が厳しく保育の世界さえにも市場化をもくろまれた新制度の中で、どう「保育の質」を守っていくか。また、国内の出生率を回復させ、日本の経済を維持するためにも、保育園で働く皆さんは大きな力になれるのです。

私たちに与えられた仕事は、国が存立していくために、決して無視できない非常に大事な部分を担っているという自覚を持っていただきたい。私達が子ども達の最善の利益を保障する立場に居る自覚を持ち、この研修会で再確認する場になっていただければ幸いです。との話がありました。

基調講演 「子どもの確かな育ちに向けて」～子どもと創る保育実践の魅力～

沖縄女子短期大学 学長 鎌田 佐多子 氏



保育界は新たな時代に入り、国が方向性を示していますが、子どもと保護者の視点に立った改善や改革が制度として保障されるのか、課題は残されています。

今こそ、日々の保育実践が、保育所保育指針の精神を踏まえて、足元を強くしていく時期ではないかと思います。

保育所保育指針は、保育の実践に向けて国が方向性を示したものです。発達の個人差を踏まえ

て、一人ひとりの気持への配慮を大事にした保育がなされているかという事を確認し、毎日の保育に生かして欲しいと思います。

大会テーマでもあります、保育園の役割とは、子どもの最善の利益を保障していく事にあると考えます。

させられている保育ではなく、子どもが自らやりたくなる、遊びたくなる環境が用意されているのでしょうか？子どもの自主性を尊重した保育の中で、自己発揮した子どもは、幼児期後半に伸びていくという調査結果があります。

保育実践で大切にしたい事は、たえず子どもの傍らに居る事、子どもの脈が聞こえる事、目の前の子どもの課題に寄り添って、明日の保育実践を「遊び」を通して総合的に作っていく事です。

今一度、一人ひとりの発達課題に沿って遊びの中で総合的に保育するという保育の基本と保育の理念を大事にしていきたいと思います。

【保育研究大会 分科会】

午後は各分科会において保育実践の研究発表が行われました。どの分科会も会場いっぱいに集まった保育園職員の熱心に聞き入る姿が見られました。

❖第1分科会（参加人数 245人）

- ・ひらまつ保育園「異年齢保育を通して」～子どもたちのコミュニケーション力を育む～
 - ・大育保育園「保護者支援」～子どもの発達を通して保育を振り返ると共に保護者との相互理解を深める～
- 助言者：琉球大学教育学部 准教授 吉葉 研司 氏

❖第2分科会（参加人数 172人）

- ・滝の子保育園「沖縄芸能に親しむ」～琉舞との出会い～
 - ・聖ヤコブ保育園「食育」～食べる力を育てよう～
- 助言者：沖縄キリスト教短期大学 保育科 教授 山城 真紀子 氏

❖第3分科会（参加人数 186人）

- ・はごろも保育園「食物アレルギーについて」～わたしたちに、できること～
 - ・東の森保育園「災害から命を守るために」～災害に合わせた動作や行動ができる子どもを育む～
- 助言者：名城大学 副学長 金城 やす子 氏

保育カウンセラーミニ講座報告

平成26年9月10日、11日と保育カウンセラー養成講座第20回「ミニ講座」が石垣市で開催されました。60名（県内52名・県外8名）が参加し、講師に千葉大学カウンセラー、臨床心理士大竹直子氏を招いて、保育とカウンセリングの接点、コミュニケーション、保育とカウンセリングの理論と技法について学ぶことができました。



保育はどのような場面でも常にコミュニケーションが大切であり、そのコミュニケーション能力を上げるには自分自身を知ること、心から相手の話しに耳を傾けることがいかに大切であるかを知ることができました。

そして多くの参加者より好評を得て2日間の研修を終えることができました。石垣市の保育園の皆様のご協力と研修への参加及び職員を派遣して下さいました園長先生へ厚く御礼申し上げます。

南部ブロック長 大城昌信（みつわ保育園）

平成26年度 初任園長研修会報告



平成26年10月2日(木)に初任園長、副園長を対象に、質の向上を図ることを目的とした平成26年度初任園長研修会が沖縄県

総合福祉センターにて開催され44名の参加がありました。

初任園長研修Ⅰでは、「保育制度改革と子どもの最善の利益」を講演テーマに、玉城善徳会長より講演を頂きました。児童福祉法24条1項の意義について、また待機児童解消問題や社会福祉法人に纏わる留保金などの問題事例を取り上げていました。我々は社会福祉法人としての透明性のある経営・運営の大切さを自覚し、社会が求める保育園を築きながら、「子どもの最善の利益」をどのようにして守っていくのかを考え、私保連としての運動を展開していきましよう園長としての大切な役割を話して頂きました。

研修Ⅱからは、初任園長同士のグループディスカッションということで経験豊富な7名の園長先生をファシリテーターに加わって頂き討議を行いました。討議の柱として「社会福祉法人としての役割や責務」「保育園における課題」「資質向上のための取り組み」の3つが掲げられました。討議に入ると各園の現在の状況や課題について様々な視点からの意見が活発に飛び交いました。ファシリテーターの園長先生からも助言・アドバイスが沢山あり学びの多い研修会になりました。



職員交流ボウリング大会



11月16日(日)に南風原のスポーツワールド・サザンヒルにて、平成26年度一般社団法人沖縄県私立保育園連盟・ボウリング大会が行われました。各ブロックから選出された保育園職員が互いに競いあいながらも、駆け付けた多くの職員の熱気に包まれた会場は、本当に楽しい交流の場となりました。

参加75チーム(150名)で行われた予選リーグから、上位15チームで争われた決勝リーグを勝ち進んだベスト3は以下の6名でした、おめでとうございます！



1位

下門友紀恵(シモカド ユキエ) 登川みらい保育園
田中阿沙美(タナカ アサミ) 登川みらい保育園

2位

松田 真弓(マツダ マユミ) 内間みどり保育園
神谷 一斗(カミヤ カズト) 勢理客保育園

3位

又吉 孝枝(マタヨシ タカエ) すみれっ子保育園
外間 勇太(ホカマ ユウタ) すみれっ子保育園

❖❖❖❖❖❖ 沖縄私保連のホームページが新しくなりました ❖❖❖❖❖❖

沖縄県私立保育園連盟



スマートフォンやタブレット端末表示への対応や、「各部の活動」の追加に加え、以前よりも見やすく、使いやすくなっています。

アドレスは以前同様で、
<http://www.okishihoren.jp/> です。

【お詫びと訂正】

先に発行しました、私保連だより124号において平成26年度新役員の掲載に一部誤りがありました。正しくは下記の通りになります。

平成26年度 役員

7	理事（予対部長）	田 仲 雄 二	西原	中部南
10	理事（北部ブロック長）	嶺 井 政 史	すだつ羽地	北 部
11	理事（中部北ブロック長）	譜久山 千代子	にじの色	中部北
12	理事（中部南ブロック長）	米 須 江利子	すてら	中部南
13	理事（那覇ブロック長）	高 良 桂 子	玉の子夜間	那 覇

ここでお詫びと訂正致します、申し訳ありませんでした。

沖 私 保 連 の 動 き

11月

- 14日（火）第7回理事会
- 6日（木）予対部会14:00 広報部会15:00
- 16日（日）ボウリング大会2:00
- 17日（月）研修部会14:00 九州三団体理事会
11:00（於福岡）県子ども子育て会
議14:00
- 19日（水）園長研修会14:00（於都ホテル）
- 20日（木）広報部会14:00

- 21日（金）主任保育士研修会9:30（於都ホテル）
- 22日（土）"
- 27日（木）四役会14:00

12月

- 2日（火）広報部会15:00
- 4日（木）事業部会14:00
- 5日（金）危機管理講習会14:00
- 9日（火）第8回理事会15:00（於那覇セントラルホテル）

編 集 後 記

広報部会はいつも賑やかだ。編集会議も活発な意見が交わされる。広報の内容が決定すれば後は、情報交換の時間になる。新制度の取組み状況から始まって、個人的な悩み相談まで。小さな集まりだからこそ語れる場所としての「広報部」なのかもしれない。

これからの広報誌を作る上で、会員から「読みたい、知りたい」記事を提案して頂くと紙面はもっと面白くなるはず。新しい年に向けて「羊」が食べてしまいたい程の内容を心がけたいと願いながら皆様のご多幸をお祈り致します。
（副部長：石川キヨ子）



人と自然と文化のハーモニーを奏でたい。
私たちは沖縄県の自立発展に「観光」で貢献します。

地域に根ざし、世界にはばたく。

沖縄ツーリスト

本社：那覇市松尾1-2-3 ☎(098)862-1111
●旅行部 ●レンタカー部 ●ホテル事業部





《園児総合保障制度》

☆キッズガード☆

(商品名：こども総合保険)

健やかなお子様の成長のために...

☆その他、施設長・職員の皆さまへの
福利厚生保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

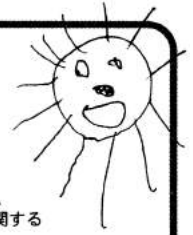
AIU損害保険株式会社沖縄支店

〒900-0015

那覇市久茂地1-12-12 ニッセイ那覇センタービル7F

TEL: 098-862-2174 FAX: 098-863-0960

保育園および園児を さまざまなリスクから サポートします



保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。
(公)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

全私保連 保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害保険」
「特別保育事業賠償責任保険」など、
保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップしています。
また、それらを総合的に補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。
保育者にとっては、一般に比べて割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先どうぞ。

(公)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内

TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

【引受保険会社】(幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

担当課：公務第二部 公務第一課 TEL: 03-3515-4133

(共同引受保険会社) 三井住友海上火災保険株式会社

このご案内は全私保連保険制度・園児総合保障共済制度の概要についてご紹介したものです。保険の
内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園
連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社まで
お問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

保育園厨房機器 見積、販売、修理
食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン

(株)盛厨房設備 リサイクル厨房館

〒901-2122 浦添市勢理客2-15-1

TEL: (098) 878-3182 FAX: (098) 874-2405



http://www.hikosen.co.jp

©CIS-HIKOSEN

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所

TEL 098-889-4339 FAX 889-1808

✉ okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱： 幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

未来の子供たちへ

絵本が育てる子供の心 **チャイルドブック**

明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社 沖縄営業所

〒901-0203 沖縄県豊見城市市長堂144-2

(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635

RICOH

リコージャパン株式会社

沖縄支社：那覇市寄宮1-3-37NTT那覇ビル1F

支社長 川原 唯司

アスクル代理店



本 社 浦添市字港川458番地

TEL (098) 878-7878(代)

那 覇 支 店
(098) 867-7855北 部 支 店
(0980) 52-3756八 重 山 支 店
(0980) 82-6271中 部 営 業 所
(098) 938-7800南 部 営 業 所
(098) 994-4949宮 古 営 業 所
(0980) 73-3616嘉 手 納 営 業 所
(098) 982-8220